

(平成30年 5月分)

種類	市況の概況
(水産物部の動向)	
水産物全般	<p>5月の水産物の総入荷量は、前年同月と比べ、加工水産物は下回ったが、冷凍魚が上回り、鮮魚が前年同月並みとなったことから、前年同月並みとなった。</p> <p>総取扱金額は、前年同月と比べ、冷凍魚は下回ったが、鮮魚、加工水産物はともに前年同月並みとなったことから、前年同月並みとなった。</p>
(区分別の動向)	
鮮魚	<p>5月の鮮魚の入荷量は、前年同月並みとなり、単価は前年同月に比べ3%上回った。</p> <p>品目別には、かつお、まいわしほしは入荷量が上回り、単価は下回った。びんちょう、ぶりは入荷量が下回り、単価は上回った。</p> <p>6月は初夏を迎える、いさき、けんさきいかが旬となり、入荷量も徐々に増えてくる。美味しいくなる旬の魚をぜひ御賞味いただきたい。</p>
冷凍魚	<p>5月の冷凍魚の入荷量は、前年同月と比べ11%上回り、単価は15%下回った。</p> <p>品目別には、冷凍えび、冷凍さば、冷凍まいわしなど、冷凍魚の主要品目の入荷量が上回り、単価が下回った。</p> <p>6月は、養殖えびの主要産地である東南アジアからの出荷が本格化するため、安定的な入荷が見込まれる。</p>
加工水産物	<p>5月の加工水産物の入荷量は、前年同月と比べ5%下回り、単価は6%上回った。</p> <p>品目別には、塩さば、開干あじは入荷量が上回り、単価は下回った。塩紅さけ、ちりめんは入荷量が下回り、単価は上回った。</p> <p>6月は、水揚げが不調であったちりめんが盛漁期を迎えることから、安定的な入荷が見込まれる。また、ロシアのサハリンで流し網漁が始まった紅さけも安定的な入荷が見込まれる。</p>

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

品 目	市 況 の 概 要
(鮮魚主要品目)	
ま あ じ	長崎、三重で水揚げされたものの入荷で、入荷量は前年同月並みとなつたが、良品物の入荷が多く単価は16%上回つた。
ま い わ し	富山、石川で水揚げされたものの入荷で、入荷量は前年同月と比べ100%上回り、単価は5%下回つた。
さ ば	三重で水揚げされたものの入荷で、入荷量は前年同月と比べ32%上回つたが、春祭りでの需要の増加により、単価は6%上回つた。
す る め い か	石川で水揚げされたものの入荷で、入荷量は前年同月と比べ65%下回り、単価は57%上回つた。
太 物	太物の入荷量は前年同月と比べ、めばちが45%，きはだが5%上回つたことにより、全体では4%上回つたが、良品物の入荷により、単価は前年同月並みで推移した。
あ ま だ い	長崎で水揚げされたものの入荷で、入荷量は前年同月と比べ7%上回つたが、大型物の入荷が多かつたことから、単価は前年同月並みで推移した。
けんさきいか	長崎で水揚げされたものの入荷で、入荷量は前年同月並みとなつたが、大型物の入荷が多かつたことから単価は、3%上回つた。
(冷凍魚主要品目)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月と比べ6%上回り、単価は5%下回つた。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月と比べ16%上回つたが、昨年からの漁獲不振により単価は前年同月並みで推移した。

(加工水産物主要品目)	
塩さば	入荷量は前年同月と比べ 7 % 上回ったが、荷動き良く単価は前年同月並みで推移した。
身欠にしん	入荷量は前年同月と比べ 13 % 下回り、単価は 8 % 上回った。